

e スポーツ



金城大学の
学生との
世代間交流
も楽しい！



初回と最終回は体力測定や、認知機能検査も行い、自身のデータの変化や確認を行います。学生と一緒に毎回テーマを決めてグループワークもしています。



■ R6年度 事業結果と評価結果

	取組区分	対象者	実施者 (介入率)	評価指標	評価結果
ハイリスク アプローチ	糖尿病性腎症 重症化予防	10人	5人 (50%)	①治療につながった人 ②R7健診でHbA1c値が改善した人 ③HbA1cの維持・改善者	①4人(80%) ②R7年度に評価実施 ③治療に繋がった人のうち維持改善3人・数値不明1人
	その他の生活習慣 病重症化予防	84人	49人 (58.3%)	①治療につながった人 ②R7健診でⅡ度高血圧値が改善した人 ③高血圧の維持・改善者	①13人(26.5%) R7年度引き続き評価予定 ②R7年度に評価実施 ③維持改善12人(24.5%) R7年度引き続き評価予定
	健康状態 不明者対策	9人	9人 (100%)	①訪問後に健診受診した人 ②訪問後に治療につながった人 ③訪問後に介護サービスにつながった人	①R7年度に評価実施 ②1人(16.7%)/治療が必要な対象:6人 ③1人(100%)/介護サービスが必要な対象:1人

●個別で指導することにより、治療の必要性の理解が得られ、治療に繋がった方もいた。家庭血圧測定の必要性はポピュレーションでも周知していくことも必要と感じた。
今後は、かかりつけ医のいるコントロール不良の方には医療連携し、生活改善指導を行っていく。介入率を上げるとともに、対象者の中でよりリスクの高い人から介入していく。

	取組区分	教室名	参加者	評価指標	評価結果
ポピュレーション アプローチ	健康教育・ 健康相談	・出前講座 ・シルバー リハビリ体操	336人	①実施した通いの場の数・実施回数・ 参加者数 ②高齢者の質問票の変化 (初回と最終回)	①出前講座 7か所・13回・148人 シルバー・リハビリ体操 1か所・6回・188人 ②改善:健康状態1④⑤(10.7→6.4%)・食習慣3②(3.9→0%) 運動転倒7①かつ8①かつ9②(8.7→7.4%) 悪化:口腔機能4①かつ5①(9.7→11.7%)
	フレイル 状態の把握	・体力測定 ・e-スポーツ	569人	①実施した通いの場の数・実施回数・ 参加者数 ②高齢者の質問票の変化 (初回と最終回)	①体力測定 17か所・35回・421人 e-スポーツ 1か所・10回・148人 ②改善:健康状態1④⑤(13.8→8.3%) 口腔機能4①かつ5①(14.5→8.8%) 運動転倒7①かつ8①かつ9②(6.4→6.0%) 悪化:食習慣3②(6.7→7.4%)

●体力測定は全圏域で実施することができた。要介護認定者の有病状況は、筋骨格系疾患や認知症が多く、事業前後の質問票でも運動転倒に関する項目が重なっている方もいる。今後は、転倒等のリスクが高い方に運動や体操のできる環境を設けることが必要であると感じた。体操や運動の取組を増やしていくことを考える。